

平成23年度実施協働事業 協働事業評価書

事業名：「午王山特別緑地保全地区の維持・管理」

団体名：新倉午王山の会

担当課：環境課

評価者：協働推進懇話会（委員8名）

評価： 適当 工夫が必要 ×改善しなければならない

事業の評価（事業目的、問題解決の手法、事業の実施体制、年間スケジュール、事業継続性、協働の必要性、協働の成果、他団体とのネットワーク）【 7人 1人】

- ・現場資源をうまく活かした事業展開がすすんでいることが読み取れる
- ・事業はほぼ計画通り実施された
- ・活動5年目とのことで、活動状況の報告もたくさんの写真を添えてあり分かりやすかった。緑豊かな里山の再生ということで、傾斜地が多く、高齢者の活動は厳しいとの報告があり、活動日を変更（土、日）の方法もあるが、高齢者の健康づくりのため無理をしないで安全に作業していただけるよう、より多くの方に参加を呼びかけてみてはどうか。

協働の評価（協働の必要性、協働の成果、他団体とのネットワーク）【 7人 1人】

- ・近隣の高校や市民活動団体と定期的に交流を図っていることは、協働の意義の観点からも高く評価できる
- ・和光高校生の参加を得て活動を行っているように、更に積極的に他団体との交流を図ることで成果の拡大が期待できる。
- ・限られた時期しか一般開放していないため、市民に対し成果があったとはいえない。

自己評価の評価【 6人 2人】

- ・里山講座が未実施でも事業計画の自己評価が5点となっている点は、今後の検討点ではないか。また、予め、事務局側より、評価指標の基準の明確化・共有化が今後不可欠と思われる。

総合評価（今後事業が発展するためのアドバイス）

- ・市内の類似団体との連携を図り、互いの優れた点を学び合って頂きたい。
- ・市の広報力を積極的に活用しながら、メンバーの拡大に取り組んでいくことを期待する。
- ・実際に現場を見た。急斜面の整備は、大変なことだと思う。和光高校と一緒にいき、地域で取り組んでいる様子が伺える。コンクリートに固めず、自然を活かした管理をしていきたいという意向は素晴らしい。今後も地域の方を巻き込んで、自然保護の大切さを今後も伝えてほしい。
- ・事業の評価・協働の評価とも成果がでている。活動状況報告書は月ごとに一覧表でまとめてあり、市民に事業を丁寧に説明しようとする姿勢が伝わる。収支決算書の支出を、内訳毎に細目に分けて記載していただけるとよい。
- ・安全面について整備し、市民サービス向上のため、早急に一般公開すべきである。
- ・午王山は歴史的な遺跡としての価値の高い場所であるが、里山として整備し、安心して散策できる場所として訪れてもらうことで、市民が地域資源を再発見することに期待したい。